

**製品名: TLS/FUS ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe21504**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:500-1:2000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:53kD;Observed MW:70kD

**抗原情報**

遺伝子名	TLS/FUS
別名	TLS/FUS
遺伝子 ID	2521.0
SwissProt ID	P35637
免疫原	ヒト TLS/FUS の合成ペプチド

**背景**

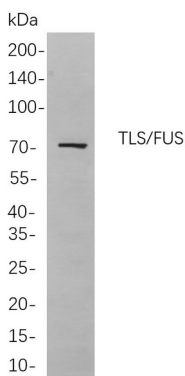
細胞局在: 核。この遺伝子は、異種核リボ核タンパク質 (hnRNP) 複合体の多機能タンパク質成分をコードしています。hnRNP 複合体は、pre-mRNA スプライシングと、完全に処理された mRNA の細胞質への輸送に関与しています。このタンパク質は、RNA 結合

タンパク質の FET ファミリーに属し、遺伝子発現の調節、ゲノム完全性の維持、mRNA/マイクロ RNA のプロセッシングなどの細胞プロセスに関与することが示唆されています。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じます。この遺伝子の欠陥は、筋萎縮性側索硬化症 6 型を引き起こします。[RefSeq 提供、2009 年 9 月]

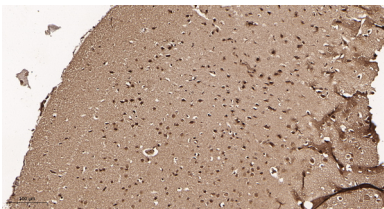
## 研究分野

-

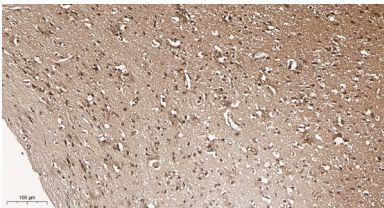
## 画像データ



TLS/FUS ウサギ mAb を用いた HepG2 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG 抗体を用いた。



パラフィン包埋マウス脳組織の免疫組織化学分析。1、TLS/FUS ウサギモノクローナル抗体を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2、EDTA pH 9.0 を使用して抗体を回復させた (>98°C、20 分)。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30 分)。



パラフィン包埋ラット脳組織の免疫組織化学分析。1、TLS/FUS ウサギモノクローナル抗体を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2、EDTA pH 9.0 を使用して抗体を回復させた (>98°C、20 分)。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30 分)。